

「丹波市地球温暖化対策実行計画」 ∞平成26年度 進捗状況報告（平成25年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成20年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

☆計画の概要☆

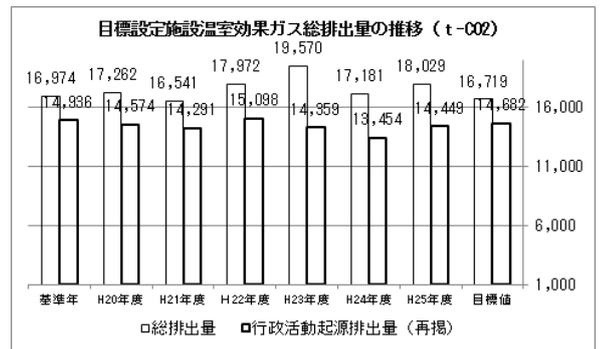
- ◎計画の基準年：平成19年度
- ◎実行計画期間：平成21年度～平成25年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO₂（二酸化炭素）、
- ・CH₄（メタン）、
- ・N₂O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **16,974t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,936t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **2,038t-CO₂**

●温室効果ガス排出量の推移

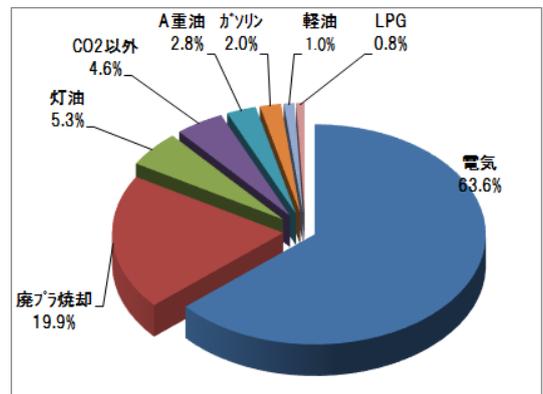


★削減目標★基準排出量（16,974t-CO₂）に対し
 1.5%（255t-CO₂）削減

☆平成25年度温室効果ガス排出状況☆

◎平成25年度温室効果ガス総排出量 **18,029t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,449t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **3,580t-CO₂**

●温室効果ガス排出源構成（H25実績）



平成25年度温室効果ガス総排出量

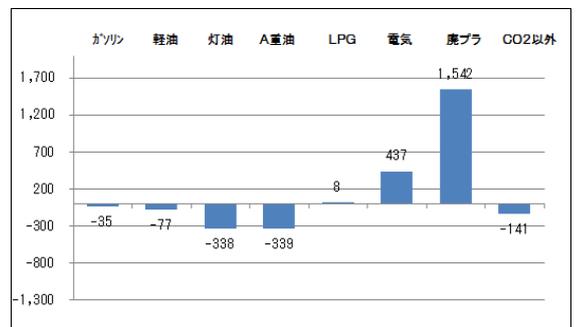
排出量は18,029t-CO₂となり、基準年の排出量（16,974t-CO₂）に対して1,055t-CO₂（6.2%）増加しました。廃プラスチック焼却による排出量は減少しているものの、行政活動起源による排出量は増加しました。

◎行政活動起源による排出量の減少理由

電力消費量は微増しましたが、ガソリンをはじめ全体的に排出量は減少傾向にあり、なかでも木質バイオマスボイラーを導入したグリーンベル青垣におけるA重油の排出量が大きく減少しています。

●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項目	H19年度	平成25年度		増減	
	排出量	排出量	基準年対比		
燃料	ガソリン	391	356	-9.0%	-35
	軽油	250	173	-30.8%	-77
	灯油	1,290	952	-26.2%	-338
	A重油	839	500	-40.4%	-339
	LPG	151	159	5.3%	8
電気	11,037	11,474	4.0%	437	
廃プラスチック焼却	2,038	3,580	75.7%	1,542	
CO ₂ 以外の温室効果ガス	976	835	-14.4%	-141	
温室効果ガス全体	16,974	18,029	6.2%	1,055	



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による温室効果ガス排出量については、設備の利用や運用方法といったソフト面での取り組みを継続させるとともに、現行の設備や機器の更新時に、より省エネ性能の高い設備、システムを導入するなどのハード面での取り組みも充実させることで、温室効果ガスの計画的な削減を図ります。

また、市内の各公共施設でもごみの排出時にはごみの分別の徹底を強化する等、一人ひとりの意識を高め、今後も継続して温室効果ガスの削減に向けて取り組む必要があります。